



化学物質のリスク評価システム *Risk Manager*

サテライトシステム

Risk Manager のサテライトシステムは、コアシステムでの評価をさらに詳細に実施してみたいユーザのための補完的システムです。以下にその個別毎の概要を記します。

気象情報解析システム

風向、風速、降雨量などの AMeDAS 気象情報に基づき、地域特異的気象情報をシステムに取りこむ形に加工します。これを利用することにより放出場所から周辺 16 方位の濃度分布予測ができます。これに地図情報を重ね合わせれば視覚化された形で状況がより容易に把握できます。コアシステムで使用している機能と同等機能ですが、サテライトシステムではこれを単独使用も可能としました。

大気濃度簡易評価システム

大気拡散による濃度推定を、気象条件を考慮せず、風下 1 方向にのみに拡散した場合での濃度予測を行うことができます。*Risk Manager* のプロトタイプとして開発した「PRTR 対象物質簡易評価システム」の version 1 で採用した、いわゆる「最悪シナリオでの評価」が行えます。

土壌中濃度推算システム

コアシステムで利用している土壌中濃度推算モデル (EPA-PRZM) の機能を活用できます。コアシステムでは計算に必要な多くのパラメータのほとんどを Default 値として準備し解析機能も基本的なものに限定しましたが、サテライトに搭載したこのプログラムでは本来の機能を使用でき、パラメータもユーザが設定できます。データを準備するのは簡単ではありませんが、詳細な解析を実行して物質の挙動を考察するには有用です。

表層水中濃度推算システム

コアシステムで利用している表層水中濃度推算モデル (EPA-EXAMS) の機能を活用できます。コアシステムでは計算に必要な多くのパラメータのほとんどを Default 値として準備し解析機能も基本的なものに限定しましたが、サテライトに搭載したこのプログラムでは本来の機能を使用でき、パラメータもユーザが設定できます。データを準備するのは簡単ではありませんが、詳細な解析を実行して物質の挙動を考察するには有用です。